

# 地域再生計画

## 1 地域再生計画の名称

人と自然が輝くあったかいまちづくり計画

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

岐阜県、加茂郡白川町

## 3 地域再生計画の区域

岐阜県加茂郡白川町の全域

## 4 地域再生計画の目標

白川町は、岐阜県の山間部に位置し、豊かな森林と美しい農山村景観が広がる農林業を基幹産業とした地域である。

現在、当町は出生率の低下、若者の都市への流出による過疎化、高齢化（65歳以上の高齢者が33%を占めるとともに、過去5年間の人口が4.4%減少）が急速に進行しており、林業の低迷と後継者不足から重要な地域資源である森林の荒廃が増え現状を維持することが困難な状況にあり、特に森林の有する木材生産機能や水源かん養機能、山地災害防止機能などの多面的機能が発揮できない大きな課題となりつつある。また、高齢化に伴い高齢者の住みよいまちづくりが急務であり、通勤・通学の安全・安心に通行することができる道路交通環境と併せて、福祉施設等へのアクセス改善が必要となっている。

このため、森林の適正な維持管理に必要な林道の整備、また社会的特性に即して住民の安全性、利便性を確保するための町道の整備により、山村の生活環境の整備・森林の総合利用の推進・地域産業の振興等により、人と自然が輝くあったかいまちづくりを行うこととする。

（目標1）林業の振興と森林の有する多面的機能の維持増進

（利用間伐への転換 10%増加）

（間伐実施面積 500ha / 年）

（目標2）道路整備による狭小区間の減少（20箇所 16箇所）

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

白川町の佐見地区にある「尾城山線」（飛騨川市地域森林計画H16.12.24岐阜県告示）の開設により森林へのアクセスを確保し、また、「白北線」（飛騨川地域森林計画H16.12.24岐阜県告示）の改良、黒川地内にある「笹畑頭谷線」（飛騨川地域森林計画H16.12.24岐阜県告示）の舗装などを行うことにより、安全確保、維持管理の節減が図られ、適切な森林施業の確保、効率的な森林経営を展開する。

また、「国道256号」、「主要地方道白川福岡線」などの改築と併せて、白川町の基幹的な道路である「町道有本線」（H3.3.25認定）、「町道落合線」（S57.7.5認定）の拡幅工事、アクセス改善による「町道小倉線」（H3.3.25認定）、「町道太田尾線」（S56.6.25認定）の拡幅工事、「町道三川本郷線」（S61.3.24認定）の舗装工事などを行うことにより、通行の安全性、利便性を図り県道、町道、農林道による効率的な道路ネットワークを構築することとする。

### 5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業 道整備交付金を活用する事業

#### ・事業主体

町道	白川町
林道	岐阜県、白川町

#### ・施設の種類

町道、林道

#### ・事業区域

いずれも白川町

#### ・事業期間

町道	（平成17～21年度）
林道	（平成17～21年度）

#### ・事業費

総事業費	5億8千万円（うち交付金3億320万円）
町道	2億2千万円（うち交付金1億1000万円）
林道	3億6千万円（うち交付金1億9320万円）

#### ・整備量

町道	2.1 km
林道	6.5 km

### 5 - 3 その他の事業

該当無し

## 6 計画期間

平成17年度～21年度

## **7 目標の達成状況に係る評価に関する事項**

4 に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握するとともに、岐阜県と白川町が連携して、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

## **8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項**

間伐等の森林整備事業の推進

森林整備に必要な林道等の整備

国道256号線、主要地方道白川福岡線、町道和泉白山線の整備